

## 「第3期愛知県がん対策推進計画」に係る令和4年度の実績

## 基本方針Ⅰ：がんの予防・がん検診による早期発見の推進

## 1 がん検診普及啓発事業

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布し、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施。

## ① 市民公開講座の開催

日時：令和4年10月1日（土）午後2時～午後3時

開催方法：オンライン（Live配信）

内容：住友生命保険相互会社、中外製薬株式会社と共催でがんに関する様々な情報を発信する市民公開講座を開催。

## ② 子宮頸がん啓発公開講座の配信

日時：令和4年12月28日（水）～配信開始

配信方法：YouTube

内容：中外製薬株式会社と共同で、子宮頸がん検診に関する啓発動画を作成し公開。

## ③ がんに関するチェックリストの作成・配布

普段からがん罹患のリスクに備えることができるよう、明治安田生命保険相互会社と住友生命保険相互会社の協力のもと「突然のがんに備えるチェックリスト～その時慌てないために～」のチラシを作成し配布した。

## ④ がん対策推進連携企業や鉄道会社における啓発ポスターの作成・掲示

がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10月）に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行った。

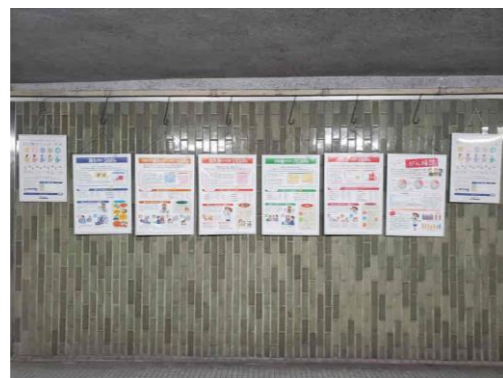
作成部数：1,350部

配布先：連携企業（ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、スポーツ協会、市町村等



キャンペーン月間ポスター

名古屋城駅地下連絡通路への掲示  
(ポスター・啓発パネル)



## 2 がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催。また、平成28年度にがん検診の指針に追加された胃内視鏡検査について、従事する医師等に対する研修会を開催。

ア 大腸がん検診従事者講習会、胃がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会を開催  
(各1回、いずれも令和5年2月に実施)

## イ 胃内視鏡検査従事者研修会の開催

開催日：令和5年1月23日（月）～2月12日（日）

対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に携わる医師等

内容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、本県の対策型胃がん内視鏡検診の現状と、効率的な胃がん発見のための留意点などを学ぶ研修を実施。YouTubeによる動画配信とZoomによる質疑応答を実施。

## 3 がん検診精度管理委員会の開催等

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、専門家で構成する委員会での分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施。

(乳がん検診精度管理委員会、胃がん・大腸がん検診精度管理委員会、肺がん検診精度管理委員会、子宮がん検診精度管理委員会を各1回開催)

## 基本方針Ⅱ：県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアが受けられるがん対策の推進

## 1 がん診療連携拠点病院の整備等

## (1) がん診療連携拠点病院等の推薦等

国指定の「がん診療連携拠点病院」（19病院）と県指定の「がん診療拠点病院」（9病院）を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。

また、今年度末で現在指定を受けているがん診療連携拠点病院等の指定期間が終了するため、国指定病院の推薦及び県指定病院の指定事務を行っている。

## (2) がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っている。

## (3) がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金の交付

がん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの運営や診療機能、医療連携機能の強化を図るために要する経費に対して補助金を交付。

補助対象：15病院（国指定病院のうち国から直接補助を受ける4病院を除く施設）

補助単価等：7,605千円（国1/2、県1/2）

## 基本方針Ⅲ：子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

### 1 がん教育

#### (1) がん教育総合支援事業

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる子どもの育成を目的に、本県のがん教育のあり方や地域支援体制の検討、外部講師の活用を図るため、協議会の開催や研修会、外部講師派遣事業を実施。

#### (2) がん教育外部講師リストの作成

がん診療連携拠点病院等の協力の下、令和5年度用がん教育外部講師リストを作成し、愛知県教育委員会及び名古屋市健康福祉局に提供。(令和5年度用がん教育外部講師リスト 28病院 144名)

令和3年度外部講師リスト活用状況(令和4年4月1日現在) 12件

### 2 小児がん対策

病気療養児の教育に携わる教員や医療者等が、日頃の支援の中で困っていることやわからないことについて、研究会にて意見交換や情報交換を実施。

開催日：令和4年8月8日(月)  
開催方法：オンライン研修  
講師：小児科医 参加者：29人

### 3 AYA世代のがん対策

#### (1) 妊よう性温存治療費助成事業

将来自分の子どもを産み育てることを望むがん患者等に、精子や卵子等の採取・凍結保存を行うのにかかる費用及び、温存後生殖補助医療にかかる費用を助成。

助成件数(4月～12月)			
胚(受精卵)凍結	15件	精子凍結	26件
未受精卵凍結	10件	精巣内精子採取術による精子凍結	0件
卵巣組織凍結	4件	温存後生殖補助医療	6件

#### (2) 愛知県がん・生殖医療ネットワークによるセミナーの開催

「愛知県がん・生殖医療ネットワーク」(SOFIA)において、妊よう性温存に関する職種間・院内外連携の現状と課題や、意思決定支援について学ぶ医療者向けセミナーを実施。

### 4 女性に特有のがん対策

「女性特有のがん対策専門会議(平成25年度開催)」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体(大学、企業等)と連携した講演会やイベントの開催による啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施。

- ① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催  
開催大学：中京大学  
開催日：令和4年11月16日(水)  
参加者：中京大学の学生及び教職員等 185名
- ② PTA連絡協議会と連携した乳がんに関する講演会の開催  
共催団体：春日井市小中学校PTA連絡協議会  
開催日：令和4年6月9日(木)  
参加者：春日井市小中学校PTA等 65名
- ③ PTA会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットや女性が活用しやすい啓発資料としてあぶらとり紙を配布
- ④ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報をHPに掲載  
掲載機関数(令和4年6月現在)：211
- ⑤ HP掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

### 5 働く世代のがん対策

#### (1) 仕事と治療の両立に向けた啓発活動

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議」による提言(平成27年3月)を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

- ① 働く世代のがん対策講演会の開催  
がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとしたがん専門医やがん治療経験者による講演を企業と連携し開催した。  
ア 企業名：ディーピーティー株式会社  
開催日：令和4年7月19日(火) 参加者：従業員 11名  
イ 企業名：株式会社名古屋銀行  
開催日：令和5年2月27日(月) 参加者：約120名

- ② 「あいち地域両立支援推進チーム会議」への参画  
地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図る。  
チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県(労働局、保健医療局)、名古屋市 等  
事務局：愛知労働局労働基準部健康課

#### (2) 「仕事と治療の両立支援取組事例集」の作成

事業所における環境整備の促進を目的として、仕事と治療の両立支援の取組事例や労働者の望む支援を広く周知するため、治療と両立して就労している労働者及び両立支援に積極的に取り組んでいる事業所等にヒアリングを行い、好事例としてその内容を冊子にまとめ、県内事業所等へ配布。

**基本方針Ⅳ：みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現**

**1 がん患者・家族に対する相談支援事業**

**(1) ピア・サポーター養成事業**

ピア・サポート活動を周知するための講演会を開催し、ピア・サポート活動に興味を持つ方を増やし、その後、活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催。

① ピア・サポーター養成研修

ア 講演会

開催日：令和4年9月16日から10月31日までYouTubeで配信

参加者：YouTube視聴回数 238名

内容：がん体験者であり緩和ケア医師でもある講演者が、がんとの向きあい方について講演。がん体験者による体験談、ピア・サポート活動の紹介など

イ 研修会（計4回）

参加者：24名

場所：国際デザインセンター（2日目、3日目はオンライン開催）

内容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談等

**(2) がん患者・家族に関する相談支援事業**

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施。

② 電話相談事業

実施状況：4月から3月まで 原則毎月10回 実施

利用者数（4月～12月）：301名（前年比102%、R3同期間294名）

**(3) 看護師等のためのがん患者さんのこころのケア対応研修**

開催日：令和5年1月21日（土）

内容：がん患者の抑うつ状態に早期に気づいて適切な対応ができるよう精神心理的苦痛に対する支持的コミュニケーションスキルや対応方法等について学ぶ。

**2 アピアランスケア支援事業**

医療用ウィッグや乳房補正具等を購入したがん患者の購入費用を支援する市町村に対して助成。

**3 がん患者サポートブックの作成**

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「あいちのがんサポートブック」を毎年作成。

**4 がんに関する情報をまとめたお役立ちシートの作成**

がんに関する様々な情報に行き着くための入り口となるチラシを作成し、がん診療拠点病院等の診療科等で配布した。



あいちのがんサポートブック（B4版）

← 発行時期：令和4年10月

作成部数：10,000部

お役立ちシート（A4版）→

発行時期：令和4年10月

作成部数：6,400枚



**5 愛知県悪性新生物患者登録事業（全国がん登録事業）**

がん登録等の推進に関する法律（平成25年法第111号）により、すべての病院及び指定された診療所は、届出対象となっているがんの診断又は治療をした場合、届出票を作成し提出することが義務化されている。全国がん登録は、がん医療の質の向上並びにがんの予防の推進のための情報提供の充実、その他のがん対策を科学的知見に基づき実施するため、がんの罹患・治療・転帰等の状況を把握し分析することを目的としている。愛知県の2021年の届出件数は73,898件、届出医療機関は143機関であった。2019年診断での罹患数は51,301名、死亡数は19,549名であった。

**6 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催**

令和4年度は、6月14日（火）に第1回、10月4日（火）に第2回、1月5日（木）に第3回の愛知県がん登録情報利用等審議会が開催された。審査の結果、申請に対して応諾となり情報提供が行われた。